

# 事務部会

## 研究主題 各校の実践に学び事務処理能力の向上をめざす

### 1 主題について

各校で取り組んでいる『日常業務について』～そこからお互いに学び合うことで、今後の事務処理能力の向上につなげる。

### 2 今年度の取組

月 日	実践内容	月 日	実践内容
4月12日	第1回総合研究会 研究主題設定・年間計画作成	11月6日	第2回総合研究会事務部会

### 3 研究内容

#### (1) 一人一研究

・期 日 平成24年11月 6日(火) ・会 場 大館市立中央公民館

財政白書は、単に数字を積み上げたように見えて、そこから読み取れることが多く、含蓄に富んだ切り込み方ではないか。児童数200人余りの小学校の1年間の維持管理費が1億6千万円。その内8割強が県費(内約3割が国費)。市費は3分。私費は1割。大半が税金で運営されているという視点を常に意識していれば、監査(国・県・市)を前向きに捉えることができる。教材備品等ほとんど公有の財産である、ということも常に意識する必要がある。また、手当支給に関しても第三者に説明できる環境整備が求められる。何が無駄かは議論の分かれる所だが、無駄を省くというのも大切である。

近年いろいろな休暇ができ、初めて経験することもあり、それへの対応もおそろかにできない。常日頃からの情報交換が必要である。(介護・短期の介護・部分休業・子の看護等)

用務外滞在、現地引率と引率の違い、海外派遣からの赴任旅費等初めて聞く内容もあった。また、寒冷地手当の確認の際の、『明らかな』というのも、見方によってはおもしろい。

### 4 成果と課題

#### (1) 成 果

- ・年々内容が濃くなり、論議も活発で、多方面に渡る問題提起ができた。
- ・一人一人がテーマを設定し、取り組んだことを発表したことによって課題を共有できた。
- ・以上の2点から、今後の各自の職務遂行にいささかなりとも寄与できたのではないかと。



【第2回総合研究会事務部会】

#### (2) 課 題

- ・いろいろな問題をひとりで抱え込まないで、組織としていかに対応していくか。
- ・他団体、他職種の人との日常的なコミュニケーションをいかに図るか。
- ・後半時間切れの状態になったので、時間配分や会の進め方にも工夫が必要である。



【第2回総合研究会事務部会】